

市民公開講座
4 講座開催

入場
無料

命に向き合う時 ～胃ろうと延命～

胃ろうって
ナニ？

団塊世代の高齢化…
やがて来る数多くの「死」…
もはや病院で最期を迎えるのではなく、
在宅で、人間らしい最期を迎えるために、必要な治療とは？
胃ろうって？延命って？
まさにその対象となる熟年が演じる、新たな演劇のカタチです。

延命治療と
人間の尊厳
とは？

完熟「一期座」
作・演出／大沢紘一

第15回 日本在宅医学会大会  愛媛

平成25年 3月30日(土) 17:20~18:20

会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）メインホール
〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

命に向き合う時～胃ろうと延命～ 完熟「一期座」市民演劇

病気が原因で、あるいは年を重ね体の衰弱が進んで、口から十分な食事が摂れなくなることがあります。そのような状況になったとき、医療の現場ではどのような対応が行われるのでしょうか。一般的には状態の改善を目指し点滴の治療を行います。その後状態の改善が見られない場合には、長期的な栄養の補給方法として、「胃瘻栄養をするかどうか」の選択肢が示されることが多くあります。

「胃瘻栄養をするかどうか」の選択肢が示された時、ご本人やご家族はごく限られた時間の中で結論を出さなければなりません。「胃瘻栄養」は長期的に体の中に栄養を送る手段としては有効かつ比較的安全な方法です。在宅医療の現場でも幅広く普及しています。いまわが国では約40万人の人が胃瘻栄養を行っています。一方で問題点もあります。胃瘻を造ることで当面の栄養を送る手段は確保されますが、すべての問題を解決できる訳ではありません。また、医療者は「胃瘻栄養をするかどうか」の選択肢を示しますが、「胃瘻栄養をしない」選択肢についての提示は十分には行われない場合もあります。また「ご本人が判断したり意思表示する」のは難しい場合が多く、実際、「ご家族が判断し決める」のがほとんどではないかと考えられます。つまり「胃瘻栄養をするかどうか」という人生の大きな決断に、ご本人の意思が十分に反映できない状況も多く生じています。

今回の市民公開講座では、この「病気や老衰で口から食事が食べられなくなったときにどうするか？胃瘻栄養を選択するかどうか？」というテーマを取り上げます。対象者のほとんどが胃瘻栄養を行い、社会全体がその介護や医療を負担するシステムでよいのか。胃瘻栄養の導入に本人の生き方や価値観は尊重されているのか。誰もが自分の問題や家族の問題としていつかは必ず遭遇するこのテーマについて、わかりやすく楽しい劇を観ていただき、それを通じ皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

■いま、なぜ、胃ろう劇なのか？

胃ろうとは、口から食事を摂れなくなったり、食べてもむせこんで肺炎などを起こしやすいとき、胃に直接栄養を投与する方法。本来、人は口から食べるもの。延命のために胃ろうの処置は必要か？人間の尊厳も絡むテーマを、わかりやすい演劇を通じて考えていきます。

■完熟「一期座」とは？

年齢を重ねてきた人たちが、自らの経験と培ってきた「こころ」で表現し、演技の中で新しい自分を発見する。熟年だからこそできる舞台を目指します。

次の災害時に現場はどう動けるか？外部はどう支援できるか？ ～災害医療をめぐるコーディネータについて考える～

3月31日(日) 13:30-15:30
会場：ひめぎんホール 真珠の間B

座長 山梨市立牧丘病院 院長 古屋聡氏
演者 つなプロ気仙沼 川崎克寛氏
演者 どさんこ海外保健協力会 / シェア 大泉樹氏
演者 キャンナス 菅原健介氏
演者 石巻市河北包括支援センター 川添圭子氏

高齢者施設での看取りを考える

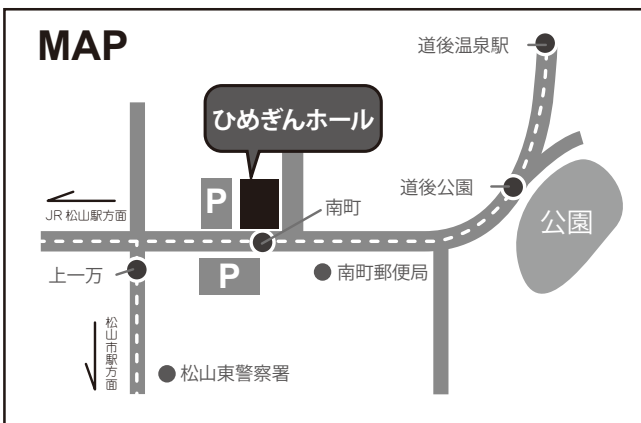
3月31日(日) 13:30-15:30
会場：ひめぎんホール 真珠の間A

講演 たんぼぼクリニック 亀井修氏
座長 長尾クリニック 院長 長尾和宏氏
演者 スローライフ 代表取締役 喜井茂雅氏
演者 宅老所あんき 代表 中矢暁美氏
演者 アミーユよんでん 常務 竹内直人氏
演者 グループホームアユーラ 管理者 大野定治氏

高齢者虐待に対応する

3月31日(日) 13:30-15:30
会場：ひめぎんホール サブホール

座長 医療法人実幸会いらはら診療所在宅医療部 部長 和田忠志氏
演者 弁護士・大阪アドボカシー事務所 日本高齢者虐待防止学会理事長 池田直樹氏
演者 愛媛県中予地方局総務企画部地域政策課 前神有里氏
演者 松前町地域包括支援センター主任介護支援専門員 畑中真理氏



会場：ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号

第15回日本在宅医学会大会事務局

〒791-8056 松山市別府町444-1

医療法人ゆうの森 担当：木原・前島

TEL：089-911-6333

E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com